

AutoLISP 関数 (AutoCAD2018)

アルファベット順

Symbol	
(*error* <STRING>)	User-definable error function.
(+ <NUMBER> <NUMBER> ...)	すべての数値の合計を返します。
(- <NUMBER> <NUMBER> ...)	1 番目の数値から 2 番目以降の数値を引いた差を返します。
(* <NUMBER> <NUMBER> ...)	すべての数値の積を返します。
(/ <NUMBER> <NUMBER> ...)	1 番目の数値をそれ以外の数値の積で割った商を返します。
(= <NUMBER> <NUMBER> ...)	引数を比較して、数値的に等しいかどうかを判断します。
(/= <NUMBER> <NUMBER> ...)	引数を比較して、数値的に等しくないかどうかを判断します。
(< <NUMB1> <NUMB2>)	各引数とその右側の引数よりも数値的に小さい場合は T を返し、それ以外の場合は nil を返します。
(<= <NUMB1> <NUMB2>)	各引数とその右側の引数よりも数値的に小さいか等しい場合は T、それ以外の場合は nil。
(> <NUMB1> <NUMB2>)	各引数とその右側の引数よりも数値的に大きい場合は T を返し、それ以外の場合は nil を返します。
(>= <NUMB1> <NUMB2>)	各引数とその右側の引数よりも数値的に大きいか等しい場合は T を返し、それ以外の場合は nil を返します。
(~ <NUMBER>)	引数のビット方式の NOT(1 の補数) を返します。
(1+ <NUMBER>)	数値を 1 増加します。
(1- <NUMBER>)	数値を 1 減少します。

A	
(abs <NUMBER>)	引数の絶対値を返します。
acad_colorldg	AutoCAD の標準の [色選択] ダイアログ ボックスを表示します。
acad_helpdlg	ヘルプ機能呼び出します (旧機能)。
acad-pop-dbmod	acad-push-dbmod 関数によって最後に保存したシステム変数 DBMOD の値を復元します。
acad-push-dbmod	システム変数 DBMOD の現在値を保存します。
acad_strlsort	文字列のリストを文字コード順にソートします。
acad_truecolorcli	コマンド ラインに色を選択するようプロンプトを表示します。
acad_truecolorldg	インデックス カラー、True color、カラー ブックのタブがある AutoCAD の標準の [色選択] ダイアログ ボックスを表示します。
accdimenableupdate	自動調整寸法の自動更新をコントロールします。
acet-layerp-mode	画層復元モードを取得、設定します。
acet-layerp-mark	画層復元のために開始マークと終了マークをつけます。
acet-laytrans	作図する画層を他の図面や標準ファイルに定義された画層標準に変換します。
acet-ms-to-ps	実数値をモデル空間単位からペーパー空間単位に変換します。
acet-ps-to-ms	実数値をペーパー空間単位からモデル空間単位に変換します。
action_tile	ユーザがダイアログ ボックスで特定のタイルを選択したときに評価すべきアクションを割り当てます。
add_list	現在アクティブなダイアログ ボックス リスト内の文字列の追加や修正を行います。
alert	エラー メッセージまたは警告メッセージのダイアログ ボックスを表示します。
alloc	セグメント サイズを、expand 関数を使用するように設定します。
(and <EXPR> ...)	指定された引数の AND(論理積) を返します。
(angle <PT1> <PT2>)	2 つの端点で定義される線分の角度をラジアン単位で返します。
angtof	角度を表す文字列をラジアン単位の実数 (浮動小数点) 値に変換します。
(angtos <ANGLE> [<MODE> <PRECIS.>])	ラジアン単位の角度の値を文字列に変換します。
(append <EXPR> ...)	任意の数のリストを受け取り、それらを 1 つのリストに結合します。
(apply <FUNCTION> <LIST>)	指定された関数に引数のリストを渡し、その関数を実行します。
arx	現在ロードされている ObjectARX アプリケーションのリストを返します。
arxload	ObjectARX アプリケーションをロードします。
arxunload	ObjectARX アプリケーションをロード解除します。
(ascii <STRING>)	文字列の先頭文字を ASCII 文字コード (整数) に変換して返します。
(assoc <ITEM> <ALIST>)	連想リストの要素を検索し、指定された要素が含まれる連想リスト項目を返します。

A	
(atan <NUM1> [<NUM2>])	数値のアークタンジェント (逆正接) をラジアン単位で返します。
(atof <STRING>)	文字列を実数に変換します。
(atoi <STRING>)	文字列を整数に変換します。
(atom <ITEM>)	指定された項目がアトムかどうかを調べます。
atoms-family	現在定義されているシンボルのリストを返します。
autoarxload	関連する ObjectARX ファイルをロードするためのコマンド名を事前に定義します。
autoload	関連する AutoLISP ファイルをロードするためのコマンド名を事前に定義します。

B	
(Boole <FUNC> <NUMB1> <NUMB2>)	ビット方式の汎用ブール演算関数です。
(boundp <ATOM>)	シンボルに値が代入されているかどうかを調べます。

C	
(car <LIST>)	リストの先頭の要素を返します。
(caar <LIST>)	Returns first element of the first element of a list
(cadr <LIST>)	Returns last element of the first element of a list
(caddr <LIST>)	リストの 2 番目の要素を返します。
(caddr <LIST>)	リストの 3 番目の要素を返します。
(cdr <LIST>)	指定されたリストの先頭の要素以外のすべての要素を含むリストを返します。
(cddr <LIST>)	Returns second element of the first element of list
(cddr <LIST>)	Returns all but first element of last element list
(chr <NUMBER>)	ASCII 文字コードに対応する整数を 1 文字の文字列に変換します。
client_data_tile	アプリケーションが管理するデータをダイアログ ボックスのタイルに関連付けます。
(close <FILENAME>)	開いているファイルを閉じます。
(command <ARGS>...)	AutoCAD コマンドを実行します。
(cond (<TEST1> <RESULT1>...))	AutoLISP の多分岐条件関数としての機能を果たします。
(cons <NEW FIRST ELEMENT> <LIST>)	リストの先頭に要素を追加します。または、ドット リストを作成します。
(cos <ANGLE>)	角度のコサイン (余弦) をラジアン単位で返します。
cvunit	ある計測単位から別の計測単位に値を変換します。

D	
(defun <SYM> <ARG LIST> <EXPR>...)	関数を定義します。
defun-q	関数をリストとして定義します。
defun-q-list-ref	defun-q 関数で定義された関数のリスト構造を表示します。
defun-q-list-set	シンボルの値を設定し、リストによって定義された関数にします。
dictadd	指定されたディクショナリに非グラフィカル オブジェクトを追加します。
dictnext	ディクショナリ内の次の項目を検索します。
dictremove	指定されたディクショナリから項目を除去します。
dictrename	ディクショナリの項目の名前を変更します。
dictsearch	ディクショナリ内の項目を検索します。
dimx_tile	ダイアログ ボックス計測単位でタイルの幅を取得します。
dimy_tile	ダイアログ ボックス計測単位でタイルの高さを取得します。
(distance <PT1> <PT2>)	2 点間の 3D 距離を返します。
distof	実数 (浮動小数点) を表す文字列を、実数値に変換します。
done_dialog	ダイアログ ボックスを終了します。

E	
end_image	現在アクティブなダイアログ ボックス イメージの作成を終了します。
end_list	現在アクティブなダイアログ ボックス リストの処理を終了します。
entdel	オブジェクト (図形) を削除、または削除したオブジェクトを復元します。
entget	オブジェクト (図形) の定義データを取得します。
entlast	図面内の削除されていない最後の主オブジェクト (図形) の名前を返します。
entmake	図面内に新しい図形を作成します。
entmakex	新しいオブジェクトまたは図形を作成し、それにハンドルと図形名を与え (ただし、オーナーは割り当てません)、新しい図形名を返します。
entmod	オブジェクト (図形) の定義データを更新します。

E	
(entnext [<ENAME>])	図面内の次のオブジェクト (図形) の名前を返します。
(entsel [<PROMPT>])	点を指定して 1 つのオブジェクト (図形) を選択するようユーザに要求します。
(entupd <ENAME>)	オブジェクト (図形) の画面表示を更新します。
(eq <EXPR1> <EXPR2>)	2 つの式が同一物かどうかを調べます。
(equal <EXPR1> <EXPR2>)	2 つの式の評価結果が等しいかどうかを調べます。
error	ユーザ定義可能なエラー処理関数です。
(eval <EXPR>)	AutoLISP 式として評価した結果を返します。
exit	現在のアプリケーションを強制的に終了します。
(exp <NUMBER>)	定数 e (実数) を指定された値でべき乗した結果を返します (自然対数の逆関数)。
expand	AutoLISP のために追加メモリを割り当てます。
(expt <BASE> <NUMBER>)	指定された値で数値をべき乗した結果を返します。

F	
fill_image	現在アクティブなダイアログ ボックス イメージ タイルに、塗り潰された長方形を描きます。
(findfile <FILENAME>)	指定されたファイルまたはフォルダを AutoCAD のライブラリパスで検索します。
(fix <NUMBER>)	実数の小数点以下を切り捨てて整数に変換して返します。
(float <NUMBER>)	数値を実数に変換して返します。
(foreach <NAME><LIST><EXPR>)	リストのすべてのメンバーに対して式を評価します。
function	組み込み関数のように引数をリンクして最適化するよう、Visual LISP に指示します。

G	
gc	強制的にガーベージ コレクションを行い、未使用のメモリを解放します。
(gcd <NUM1> <NUM2>)	2 つの整数の最大公約数を返します。
get_attr	ダイアログ ボックス属性の DCL 値を取得します。
get_tile	ダイアログ ボックスのタイルの現在の値を返します。
(getangle [<PT>][<PROMPT>])	ユーザが角度を入力するまで待機 (一時停止) し、入力された角度をラジアン単位で返します。
getcfig	acad*.cfg ファイルの AppData セクションからアプリケーション データを取得します。
getcname	英語以外の言語に翻訳された AutoCAD コマンド名、または英語の AutoCAD コマンド名を取得します。
(getcorner [<PT>][<PROMPT>])	ユーザが長方形の 2 番目のコーナーを入力するまで待機 (一時停止) します。
(getdist [<PT>][<PROMPT>])	ユーザが距離を入力するまで待機 (一時停止) します。
(getenv [<VARIABLE>])	システム環境変数に設定されている文字列値を返します。
getfiled	AutoCAD の標準ファイル ダイアログ ボックスでファイル名を指定するようユーザに要求し、ユーザが指定したファイル名を返します。
getint	ユーザが整数を入力するまで待機 (一時停止) し、入力された整数を返します。
(getkword [<PROMPT>])	ユーザがキーワードを入力するまで待機 (一時停止) し、入力されたキーワードを返します。
(getorient [<PT>][<PROMPT>])	ユーザが角度を入力するまで待機 (一時停止) し、入力された角度をラジアン単位で返します。
(getpoint [<PT>][<PROMPT>])	ユーザが点を入力するまで待機 (一時停止) し、入力された点を返します。
(getreal [<PROMPT>])	ユーザが実数を入力するまで待機 (一時停止) し、入力された実数を返します。
(getstring [<CR>][<PROMPT>])	ユーザが文字列を入力するまで待機 (一時停止) し、入力された文字列を返します。
(getvar <varname>)	AutoCAD のシステム変数の値を取得します。
(graphscr)	AutoCAD のグラフィックス スクリーンを表示します。
(grclear)	現在のビューポートをクリアします (旧関数)。
(grdraw <from><to><color>[<highlight>])	現在のビューポートで 2 点間にベクトルを描画します。
(grread <track>)	いずれかの AutoCAD 入力デバイスから値を読み取ります。
(grtext <box><text>[<highlight>])	ステータス バーまたはスクリーン メニュー領域に文字を書き込みます。
grvecs	作図領域に複数のベクトルを描きます。

H	
handent	ハンドルに基づいて、オブジェクト (図形) 名を返します。
help	ヘルプ機能呼び出しします。

I	
(if <testexpr><thenexpr>[<elseexpr>])	条件に応じて式を評価します。
initcommandversion	次のコマンドを指定したバージョンで実行します。
initdia	コマンドを次回使用するときダイアログ ボックスを強制的に表示します。
initget	次のユーザ入力関数の呼び出しで使用されるキーワードを設定します。
(inters <pt1><pt2><pt3><pt4>[<onseg>])	2 本の線分の交点を検出します。
(itoa <number>)	整数を文字列に変換して返します。

L	
(lambda <arguments><expr>...)	匿名の関数を定義します。
(last <list>)	リストの最後の要素を返します。
layoutlist	現在の図面内の、すべてのペーパー空間レイアウトのリストを返します。
layerstate-addlayers	画層状態に一連の画層を追加または更新します。
layerstate-compare	画層状態と、現在の図面内の画層を比較します。
layerstate-delete	画層状態を削除します。
layerstate-export	画層状態を指定したファイルに書き出します。
layerstate-getlastrestored	現在の図面に最後に保存された画層状態の名前を返します。
layerstate-getlayers	画層状態に保存されている画層を返します。
layerstate-getnames	画層状態の名前のリストを返します。
layerstate-has	画層状態が存在するかどうかをチェックします。
layerstate-import	指定したファイルから画層状態を読み込みます。
layerstate-importfromdb	指定した図面ファイルから画層状態を読み込みます。
layerstate-removelayers	画層状態から画層のリストを除去します。
layerstate-rename	画層状態の名前を変更します。
layerstate-restore	画層状態を現在の図面に復元します。
layerstate-save	現在の図面に画層状態を保存します。
(length <list>)	リストの要素数を表す整数を返します。
(list <expr>)	任意の数の式を受け取り、それらを 1 つのリストに結合します。
(listp <list>)	指定された項目がリストかどうかを調べます。
(load <filename>)	ファイル内の AutoLISP 式を評価します。
load_dialog	DCL ファイルをロードします。
(log <number>)	数値の自然対数を実数で返します。
(logand <number><number>...)	整数のリストのビット方式の AND (論理積) の結果を返します。
(logior <number><number>...)	整数のリストのビット方式の OR (論理和) の結果を返します。
(lsh <numb1><numbits>)	指定されたビット数だけ整数を論理的にビット シフトした結果を返します。

M	
(mapcar <function><list1>...<listn>)	指定されたリストの各要素を引数として関数を実行した結果のリストを返します。
(max <number><number>...)	指定された数値の中の最大値を返します。
mem	AutoLISP のメモリの現在の状態を表示します。
(member <expr><list>)	指定された式がリスト内に存在するかどうかを検索し、初めに検出した式以降のリストを返します。
(menucmd <string>)	メニュー コマンドを発行したり、メニュー項目のステータスの設定や取得を行います。
menugroup	メニュー グループがロードされていることを確認します。
(min <NUMBER><NUMBER>...)	指定された数値の中の最小値を返します。
(minusp <ITEM>)	数値が負かどうかを調べます。
mode_tile	ダイアログ ボックスのタイルのモードを設定します。

N	
namedobjdict	図面内のすべての非グラフィカル オブジェクトのルートである、現在の図面の名前の付いたオブジェクトのディクショナリの図形名を返します。
nentsel	点を指定してオブジェクト (図形) を選択するようユーザーに要求し、複合化オブジェクトに含まれる定義データにアクセスできるようにします。
nentselp	ユーザー入力を要求せずに nentsel 関数と同様の機能を提供します。
new_dialog	新しいダイアログ ボックスを開始し、それを表示します。既定のアクションを指定することもできます。
(not <ITEM>)	指定された項目の評価が nil になるかどうかを調べます。
(nth <n><LIST>)	リストの n 番目の要素を返します。
(null <ITEM>)	指定された項目の内容が nil かどうかを調べます。
(numberp <ITEM>)	指定された項目が実数または整数かどうかを調べます。

O	
(open <FILENAME><MODE>)	AutoLISP の入出力関数がアクセスできるようにファイルを開きます。
(or <EXPR>...)	式のリストの OR (論理和) を返します。
(osnap <PT><MODE-STRING>)	指定された点にオブジェクト スナップ モードを適用して取得した 3D 点を返します。

P	
(polar <PT><ANGLE><DISTANCE>)	指定された点から指定された角度と距離だけ離れた UCS 3D 点を返します。
(prin1 <EXPR>[<FILENAME>])	コマンドラインに式を表示したり、開いているファイルに式を書き出します。
(princ <EXPR>[<FILENAME>])	コマンドラインに式を表示したり、開いているファイルに式を書き出します。
(print <EXPR>[<FILENAME>])	コマンドラインに式を表示したり、開いているファイルに式を書き出します。
(progn <EXPR>...)	各式を順に評価して最後の式の値を返します。
(prompt <MSG>)	スクリーンのコマンドラインに文字列を表示します。

Q	
quit	現在のアプリケーションを強制的に終了します。
(quote <EXPR>)	評価せずに式を返します。

R	
(read <STRING>)	文字列から取得した最初のリストまたはアトムを返します。
(read-char [<FILENAME>])	キーボード入力バッファまたは開いているファイルから読み込んだ文字を表す 10 進表記の ASCII コードを返します。
(read-line [<FILENAME>])	キーボードまたは開いているファイルから、行の終了マークが現れるまで、文字列を読み込みます。
(redraw [<ENAME>][<MODE>])	現在のビューポートまたは現在のビューポートで指定されたオブジェクト (図形) を再描画します。
regapp	拡張オブジェクト データを使用できるようにするために、現在の AutoCAD の図面にアプリケーション名を登録します。
(rem <NUM1> <NUM2> ...)	1 番目の数値を 2 番目の数値で除算し、剰余を返します。
(repeat <NUMBER> <EXPR> ...)	指定された回数だけ各式を評価し、最後の式の値を返します。
(reverse <LIST>)	要素の順番を反転させたリストのコピーを返します。
(rtos <NUMBER> [<MODE><PRECIS>])	数値を文字列に変換します。

S	
(set <SYM><EXPR>)	シングルクォーテーション付きのシンボル名の値に式を代入します。
set_tile	ダイアログ ボックス タイルの値を設定します。
setcfg	acad*.cfg ファイルの AppData セクションにアプリケーション データを書き出します。
setenv	指定された値をシステム環境変数に代入します。
setfunhelp	ユーザー定義コマンドをヘルプ機能付きで登録し、ユーザーからそのコマンドのヘルプが要求されたとき、該当するヘルプ ファイルとトピックを呼び出すようにします。
(setq <SYM1><EXPR1>...)	シンボル (1 つまたは複数) に式の値を代入します。
(setvar <VARIABLE><VALUE>)	指定された値を AutoCAD システム変数に代入します。
setview	指定されたビューポートにビューを設定します。
(sin <ANGLE>)	ラジアン単位の実数で表した角度のサイン (正弦) の値を返します。

S	
slide_image	現在アクティブなダイアログ ボックス イメージ タイルに、AutoCAD スライドを表示します。
snvalid	指定された文字列が有効なシンボル テーブル名かどうかチェックします。
(sqrt <NUMBER>)	数値の平方根を実数で返します。
ssadd	選択セットにオブジェクト (図形) を追加、または新しい選択セットを作成します。
ssdel	選択セットからオブジェクト (図形) を削除します。
(ssget [<MODE>][<PT1><PT2>])	選択されたオブジェクトから選択セットを作成します。
ssgetfirst	オブジェクトが選択されているかどうか、およびグリップされているかどうかを調べます。
(sslenght <SS>)	選択セットに含まれるオブジェクト (図形) の数を示す整数を返します。
(ssmemb [<ENAME>][<SS>])	指定されたオブジェクト (図形) が選択セットのメンバーかどうかをテストします。
(ssname <SS><INDEX>)	選択セットの指定されたインデックス番号の要素のオブジェクト (図形) 名を返します。
ssnamex	選択セットがどのように作成されたかに関する情報を取得します。
sssetfirst	オブジェクトを選択したり、グリップします。
startapp	Windows アプリケーションを起動します。
start_dialog	ダイアログ ボックスを表示し、ユーザー入力の受け入れを開始します。
start_image	ダイアログ ボックス タイルでのイメージの作成を開始します。
start_list	リスト ボックスまたはポップアップ リストの処理を開始します。
(strcase <STRING>[<WHICH>])	すべてのアルファベットを大文字または小文字に変換した文字列を返します。
(strcat <STRING1><STRING2>...)	複数の文字列を連結した文字列を返します。
(strlen <STRING>)	文字列の文字数を示す整数を返します。
(subst <NEWITEM><OLDITEM><LIST>)	リストで古い項目を検索し、古い項目があるたびに新しい項目で置き換えたリストのコピーを返します。
(substr <STRING><START><LENGTH>)	文字列の部分文字列を返します。

T	
tablet	ディジタイザ (タブレット) の位置合わせの取得と設定を行います。
(tblnext <NAME> [<rewind>])	シンボル テーブル内の次の項目を取得します。
tblobjname	指定されたシンボル テーブル項目の図形名を返します。
(tblsearch <NAME><SYM>[<setnext>])	シンボル テーブル内のシンボル名を検索します。
term_dialog	ユーザーが現在のダイアログ ボックスをそれぞれキャンセルした場合と同じように、現在のすべてのダイアログ ボックスを終了します。
(terpri)	コマンドラインに改行を出力します。
textbox	指定された文字オブジェクトを計測し、その文字を囲むボックスの対角頂点の座標を返します。
textpage	作図領域からテキスト スクリーンにフォーカスを切り替えます。
(textscr)	作図領域からテキスト スクリーンにフォーカスを切り替えます (AutoCAD のスクリーン切り替えファンクション キーと同じ)。
(trace <FUNCTIONS>...)	AutoLISP のデバッグを支援します。
(trans <PT><FROM><TO>[<DISP>])	ある座標系から別の座標系に、点 (または変位) を変換します。
(type <ITEM>)	指定された項目のタイプを返します。

U	
unload_dialog	DCL ファイルをロード解除します。
(untrace <FUNCTIONS>...)	指定された関数のトレース フラグをクリアします。

V	
vector_image	現在アクティブなダイアログ ボックス イメージに、ベクトルを描きます。
(ver)	AutoLISP の現在のバージョンを表す文字列を返します。
(vports)	現在のビューポート設定に関するビューポート ディスクリプタのリストを返します。

W	
wcmatch	ワイルドカードを使用して、文字列のパターンマッチングを行います。
(while <TESTEXPR><EXPR>)	テスト式を評価して nil でなければ、他の式を評価します。テスト式の評価が nil になるまでこの処理を繰り返します。
(write-char <NUM> [<FILENAME>])	スクリーンまたは開いているファイルに、1 文字を書き出します。
(write-line <STRING> [<FILENAME>])	スクリーンまたは開いているファイルに文字列を書き出します。
X	
xdroom	オブジェクト (図形) の使用可能な拡張データ (Xdata) 空間の量を返します。
xdsiz	リストが拡張データとしてオブジェクト (図形) にリンクされた場合にそのリストが占めるサイズを (バイト単位で) 返します。
Z	
(zerop <ITEM>)	数値がゼロに評価されるかどうかを調べます。